

堀内委員提出資料

卒業時の学生の能力

< 正常産を担う助産師の活用が求められる背景 >

- ・産科の閉鎖、産科医不足。
- ・極め細やかな助産師のケアと産婦の出産満足度(また産みたいと思える出産)。
- ・正常分娩において実力のある助産師の育成が急務。

< 卒業時の学生の能力 >

- ・教員による学生達成度評価
「妊娠経過の診断」、「分娩進行に伴う母児の異常発生予防と早期発見」、
「母乳育児支援」等は自立できていない。(全国助産師教育協議会2003)
- ・新人助産師による自己評価
「新生児ケア」「産褥期ケア」「育児指導」のできない比率が高い。(厚生労働省)

< 安全で快適な出産を支援する自立した助産師の育成には >

- ・妊娠期からの継続した関わりが必要であり、妊娠前から育児期までのトータルケアのできる、異常時の適切な対応のできる人材育成が重要である。

1.

助産学科目の必修選択単位の比較

(全国助産師教育協議会2003)

科目名	指定規則	4年制大学	短大専攻科	専門学校
基礎助産学	6	2.3	7.2	8.9
助産診断・技術学	6	4.8	8.3	10
助産管理学	1	1.2	1.1	1.1
地域母子保健	1	0.5	1.2	1.4
助産学実習	8	6.5(8.3週)	9.2(12.3週)	11.0(16.5週)
他		0.7	2.9	1.9
合計	22	16	29.6	34.9

2